



春里中学校

学校だより 令和6年度 3月号

TEL 048-683-3458

FAX 048-683-8979

学校教育目標
自ら学ぶ生徒
思いやりのある生徒
健やかな生徒

恩送り

校長 小倉 弘一

「恩送り」という言葉があります。既に江戸時代には使われていた言葉で、当時は「恩返し」と同意義だったようです。しかし、近年では、時に「目上の人（先輩や親）から受けたご恩は、自分の未熟さや時系列が原因で、受けたご恩に報いることが困難なため、自分よりも社会的立場の低い人（後輩や子）に対して、そのご恩を返すこと」と解釈されて使われることがあります。



芳香を放つ昇降口前の紅梅

さて、間もなく3年生が卒業を迎えます。

1, 2年生の中には、3年生からたくさんの愛情を受けつつ様々なことを教わったり、励ましてもらったり、導いてもらったりした生徒が多いのではないかでしょうか。そんな先輩に憧れ、価値観に影響を受け、生き様を道標にした経験があることでしょう。先輩の深い愛情に裏打ちされた言動に対して、感謝しきれない思いがあることでしょう。

しかし、その先輩はもう卒業してしまいます。恩返しをするだけの人間力も、時間もなく、ささやかな感謝の言葉を贈るだけになってしまって、歯がゆく、申し訳なく感じた際は、そのご恩は後輩に送りましょう。きっとあなたが憧れる先輩も、そうしてきたはずです。こうした思いが引き継がれて、本校の伝統が築かれてきました。

1, 2年生の皆さん、次はあなたたちの出番です。後輩に憧れられるような立派な先輩になりましょう。

本校の学校ホームページの「今週の1枚」のコーナーにて、本校生徒の学校教育活動の様子を写真入りで紹介しています。おおむね一週間に一回程度のペースで更新しています。是非ご覧ください。

